

北秋田市教育委員会
令和3年7月定例教育委員会会議録

1. 招集年月日 令和3年7月29日(木)
2. 招集場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後3時20分
4. 出席委員 教育長：佐藤 昭洋 委員：佐藤 正俊
委員：佐藤 英樹 委員：蒔苗 隆
委員：藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 教育次長：小坂 竜也 総務課総務係長(書記)：工藤 留理子
総務課長：金田 浩樹 北部学校給食センター所長：
学校教育課長：山田 理 義務教育係長：佐藤 貴子
生涯学習課長：小塚 重光 生涯学習係長：成田 美穂子
スポーツ振興課長：藤野 義則 文化係長：
スポーツ係長：松橋 康浩
7. 傍聴者 なし
8. 報告事項 (1) 教育長報告
① 教育長動静
(2) 各課長所管報告
・総務課
① 7月行事報告及び8月行事計画
② あきたリフレッシュ学園
・学校教育課
① 7月行事報告及び8月行事計画
② 学校の状況
・生涯学習課
① 7月行事報告及び8月行事計画
・スポーツ振興課
① 7月行事報告及び8月行事計画

9. 附 議 案 件

- (1) 議案第 43 号 北秋田市体育施設管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 議案第 44 号 北秋田市体育館管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 議案第 45 号 北秋田市公民館館長の任命について
- (4) 議案第 46 号 北秋田市教育委員会点検評価委員の委嘱について
- (5) 議案第 47 号 令和 2 年度北秋田市教育委員会点検・評価報告書について

10. そ の 他

11. 会 議 録

佐藤教育長	ただいまから、7月の定例教育委員会を開会します。 それでは、署名委員の指名をさせていただきます。本日の署名委員は藤本委員にお願いします。
藤本委員	はい、分かりました。
佐藤教育長	次に、次第 2 番「前回委員会会議録の承認」です。事前に事務局から配付されている 6 月定例教育委員会と第 1 回総合教育会議の 2 件の会議録の内容について、訂正等がある方はいらっしゃいますか。
委員	ありません。
佐藤教育長	ないということですので、会議録については承認とさせていただきますもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	承認とします。 続いて、次第 3 番「諸報告」です。(1) 私、教育長から動静について報告いたします。 まず、今日資料にも入れましたが、報道発表「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録ということについて、27 日の夜 6 時 51 分、パブリックビューイングで会議の様子を見ていましたが、通訳を聞いて本当に嬉しいと、皆さんの努力が実ったというふうに感じております。オリンピックも始まり、連日開会式から夜遅くまで起きている中、パブリックビューイングも夜の会議でございましたが、生活のリズムが夜型へと移っていくように感じておりました。これを最初にご報告申し上げたいと思います。

佐藤教育長	<p>それでは私から、動静について報告いたします。6月25日、市青少年問題協議会がございました。青少年健全育成関係の会議というのはいろいろございまして、この青少年問題協議会は、委員の構成が市議会、社会教育委員、それから小中高等学校長、警察署、少年保護育成委員、子ども会育成連合会、民生児童委員、保護司会、青少年育成市民会議、婦人会、更生保護女性会、PTA連合協議会、健康福祉部長と、幅広い人たちが協議する、そういった会議でございます。それぞれの立場からのご意見をいただいて協議していくといった内容でございます。今回は事前に提出した報告をもとにして協議が行われましたが、コロナ禍での課題とかSNSの問題とかそういったところが主に取り上げられておりました。29日、6月議会の本会議が閉会いたしました。すべての議案が議決となりました。30日、要保護児童対策地域協議会、これは主に子どもたちの虐待問題について話し合われております。それから7日、8日、13日はフラックと訪問、綴子小と合川小、北部給食センター、鷹巢中と4ヵ所回ってきました。合川小では、合川公民館の特別展示「極め人」の中で、前に鷹巢中に勤務していた辻先生のお父さん、斉藤さんが作られた本当に素晴らしい樺細工の展示がございまして、子どもたちのみならず市民の方々にも見ていただきたいと思われました。私も2回か3回見に行きましたけれども、工芸品として売り出すものではなく、作品展に出すような美術品ですね。売ったりもしない。ご自宅にも相当な数の作品があるようです。ご本人は足が不自由だったようで、工房を開いた時にはお弟子さんもそういった体の不自由な方々を雇って技を伝授していったようです。そういった全国レベルの美術品が合川小のホールに並べられていまして、もっと市民の皆さんにお見せしたいと思うような作品でした。なぜ合川かというと、実は合川の御処野家の樺細工の流れが、斉藤さんが樺細工を習った流れの中の一つにあったということで、合川との縁が非常に強い方であったということでございました。現在合川公民館でやっている樺細工講座に、そのお嬢さん、辻さんですけども、参加しているというようなそういった流れの中でこの展示会が実現したようでございます。今回は紫陽花とかひまわりとか、夏バージョンのものを展示したということでしたが、秋バージョンも冬バージョンも季節ごとにあるようですから、そういったものも見せてほしいというお話をしたところでございます。8日、地域学校協働活動推進員ネットワーク会議、これも生涯学習課の主催の行事でしたが、二ツ井小の佐藤潔校長を講師に、コミュニティスクールの実践について、具体的に各学校の校長や教頭、それからコーディネーター、地域推進員の方々と一緒に学んだという、二ツ井小の具体的な実践を紹介してございまして、例えば、小学3年生の習字の始まりのところには、地域の人たちも来てもらうとか、それから九九を習った後に、これまでは30人いると担任の先生一人が九九を覚えたかやりとりしている中で、非常に時間かかるわけですね。そこに地域のおばあさん方をお願いして、地域の方々に入ってもらって聞いてもらう。そうすると学校に行く前に、おばあさん方も自分で復習して、参加する人も活性化するし子どもたちも効率のいい学び方ができる、そういった地域との関わり、コミュニティスクールのあり方について校長が話してくれました。その話をする前に、私が先程の「極め人」に行った時には、実は合川小でも既にやっけていて、家庭科の授業に地域の方々がいっぱい入っていて、地域の方々が「よく先生方、今までこれ一人でやっ</p>
-------	--

佐藤教育長	<p>てあったね」と言っていました。大体、針に糸を通すことができない、最初のたまむすびもできない子どもたち、その子どもたちの中にそういった地域の人が入って家庭科の学習を助けている。本市でもやっているような内容でしたが、広がりを持っていろいろなことを参加者が勉強していたというふうに感じています。15日、合川公民館の起工式安全祈願祭がありました。合川公民館の工事がいよいよスタートしております。16日、あきたリフレッシュ学園1学期終業式は3名の児童生徒が参加して行われましたが、式に参加できない子どもも外の畑に2名おまして、この日は5名が来ていました。22日、小・中学校は、この日から実質夏休みに入ったわけですが、米内沢小の竹あかりプロジェクト、一昨年の葛黒の火祭りがまくらで、美郷町の竹あかりプロジェクトの方々が来て披露してくださったのですが、実は東京オリンピックを応援するために、東京オリンピック開会式の前の日に全国みんなで竹あかりを灯そうといったイベントだったようです。それを米内沢小の6年生が昨年やりまして、今年も引き続きやると。ちょうど東京オリンピックの開会式の前の日に、浜辺の歌音楽館の前で灯してくれました。合唱団の澄んだ歌声も聞くことができ非常に良い会であったと思っています。24日、伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイドの年次総会がありました。ジュニアボランティアガイドは、現在52名が登録しております。これまでで最大の数です。当日は36名が出席してくれまして、初めて入った子どもたちにも先輩がガイドをして見せて、こんな感じだよというイメージを持たせてくれておりました。52名の内訳は小学生が14名、中学生が23名、高校生が15名。特筆すべきところはやはり高校生の15名だと私は思っています。7年目の子どもも5名いて、小学6年生から始めてもう高校3年生になっているわけですね。それもすごいのですが、高校生になって初めて来たという子どもが7名いてすごく嬉しいなと感じました。この後この子どもたちが、シニアのボランティアガイドに成長してくれれば嬉しいというふうに感じたところでした。この後のジュニアボランティアガイドの活動については生涯学習課長が説明してくれると思います。26日はALTのオールドリッジ・アビゲール・ニコールさん、鷹巣東小、綴子小、鷹巣中でALTの仕事をしてくれました。2年間とちょっと短い期間でしたが、アメリカに帰るということで絆大使の辞令を交付したところです。同じ日に、県の安田教育長が来庁しまして、昨年度も来てくれましたので、2年連続して県の教育長が市町村を回って協議しているというのは安田教育長が初めてではないかと思っています。県との連携を深めることができたと思っています。話題は主に教職員の多忙化解消の対策、ICTの活用、新型コロナウイルスへの対応について意見交換したところです。27日のパブリックビューイングは、たくさんの人とはいきませんでしたけれども、当初コムコムを文化会館に会場を移してやったところで、結構皆さん集まってきてくださっても密を避けることができたというふうに感じております。担当には難儀をかけましたが、良いかたちでお祝いできたと思っています。</p> <p>以上私の動静でしたけれども、何かご質問ございませんか。</p>
藤本委員	<p>地域学校協働活動推進員ネットワーク会議ですけども、二ツ井小の地域の方を学校にお招きしたというお話でしたが、ちょうど二ツ井に勤めていた時で、その地域の婦</p>

藤本委員	<p>人会を通じて奥様たちが小学校の子どもたちの九九を確認しに行くということで、自分の孫は県外にいて、まさかその孫と同世代の子どもたちと一緒にの中に入って、子どもたちと接することができるなんて本当に楽しくてうれしかったということで、すごく喜んでいましたので、ぜひそういった事例も北秋田市でも学校運営協議会などで参考にしていただきたいと思います。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございます。学校で一番手がかかる時に、地域の人に入ってもらう、例えば1年生の給食指導にも入っているそうです。小学1年生の給食の配膳に、そういった最初の段階で地域の人たちも入ってやって、来た人たちには給食を食べてもらってというようなこともやっているそうですし、先ほどお話した習字のスタートとか、ここに人が欲しいというところをうまく捉えてやっているという実践を聞いて、これはやはり本市でも真似ていきたいなと感じたところです。おそらく参加した教頭先生方は、これはいいなと感じたと思いますので、この後学校運営協議会でそういった話で盛り上がってくれたらと思っています。佐藤潔校長は、二ツ井小・中学校出身で現在釈迦内に住んでいて、北教育事務所の主任社会教育主事をやったり、文部科学省にも1年出向したり幅広く活動した方ですので、ひまわりプロジェクトには地域住民として参加していますし、そういった実践派ですから非常に勉強になるなというふうに思いました。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>なければ、次に（2）各課所管事項の報告について、初めに総務課からお願いします。</p>
金田総務課長	<p><7月行事報告及び8月行事計画について報告> 資料のとおり。</p> <p><総務課報告概要></p> <p>1. あきたリフレッシュ学園</p> <p>(1) 利用状況 学園生13名(中学生8名、小学生5名)前月比増減なし。</p> <p>(2) 活動内容 資料のとおり。</p>
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について、質問や意見などはございませんか。</p>
佐藤正俊委員	<p>つけ足しです。先ほど金田課長からあきたリフレッシュ学園の終業式のことでお話ありましたが、1学期の思い出と夏休みの抱負を述べたHさんは、市外から片道2時間、まず休むことがなかったです。毎日母親が送り迎えしてくれるという一文が入っていますが、その時、母親が目頭をおさえていて、教育長も涙を流したものですから、内容がよかったですね。なかなか親に対する感謝の言葉っていうのは今の子どもたちはあまりないので、そういう場面でのありがとうという言葉が私たちもとてもうれしく思いました。少しずつ変わっていく様子も私たちの目に映るわけですが、市外から来るというのは大変だと思います。でも、その子どもは毎日楽しくてしよ</p>

佐藤正俊委員	うがないんです。何をやっても一生懸命頑張って、その子が望むことに私たちも全力を尽くしてまた教えているわけですが、そのことが子どもや親にとっても毎日が楽しいというか、車内での話も大分できるようになったようです。そういうこともあって、教育長の挨拶の中で涙が流れたことは、印象的でありがたかったなと思います。
佐藤教育長	Hさんのお母さんも終業式にも出てくれて、終業式の様子をお母さんに聞いてみたら、初めて子どもにありがとうって言われたと非常に感激しておりました。往復4時間が苦でないという話をしていました。良かったなと思います。
	他にございますか。
	なければ、次に学校教育課からお願いします。学校教育課の報告の中で、職員及び児童・生徒に関する内容につきましては、プライバシーに配慮して内容を非公開としてもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意をいただきましたので、職員及び児童・生徒に関する内容については非公開で報告します。
	では、学校教育課長から所管報告をお願いします。
山田学校教育課長	<p><7月行事報告及び8月行事予定について報告> 資料のとおり。</p> <p><学校教育課報告概要></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒数 7月1日現在 1,597名 前月比増減なし。 2. クマやサルを目撃情報への対応 資料のとおり。 <p><非公開資料説明></p>
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ、次に生涯学習課からお願いします。
小塚生涯学習課長	<p><7月行事報告及び8月行事予定について報告> 資料のとおり。</p> <p><生涯学習課報告概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月定例教育委員会で質疑のあった陶芸ハウスの利用状況について報告
佐藤教育長	ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。

佐藤正俊委員	<p>世界文化遺産登録、おめでとうございます。長年のご努力があった結果だと思えます。新聞やニュース等で大々的に報道されたわけですが、市内のどこかに大きく掲示しているのかと思いつながら、街中を回ってみてもなかなか見あたらない。市庁舎前の看板「目指せ世界文化遺産」もこれから変わるのでしょうか。できれば、一般市民に広く世界文化遺産になったということが分かるように、例えばショッピングモールとか駅とかで、もっと大々的に見せたいものだなと思います。一部の人だけが喜んでいてではなく、市民全体がもっと盛り上がるような仕掛けがあった方がいいと感じます。できるだけ早く、少しお金がかかるとは思いますが、大々的に市民がお互いに喜びを分かち合えるような、そういうものがあつたらいいと感じました。何とか実現してほしいと思います。あと陶芸ハウスの利用者の推移についてですが、ありがとうございました。なかなかこのような大きな施設はないわけで、作ろうとしてもできないし、できれば残しながら、陶芸の趣味の人たちが活用し、増えてくれたらいいと感じます。その人たちのためにも整備しながら、宣伝をしてやってほしいと思います。</p>
小塚生涯学習課長	<p>まず伊勢堂岱遺跡の世界文化遺産登録が見えないという話ですが、確かにそのとおりだなと思いつながら伺っていました。今現在、本庁舎前の門と門の間に看板を設置してございますが、それはまだ「目指せ」の状態ですが、今日夕方には新しいバージョンに替えることになってございます。あと本庁舎の屋上、あまり予算がないものですから手作りで世界文化遺産登録になったといったものを掲げる予定にしております。他に商工観光課で作っているものですが、「祝世界文化遺産登録」といったシール、第二庁舎の入口にも貼っています。うちの方でもらったのが100枚程だったのですが、商工観光課の方では数千という単位で作られていると思います。先ほど予算の話もありましたけれども、紙代ですとかインク代だとか消耗品費で対応できるやり方もあるのではないかと思いますので、この辺も含めて検討して進めて参りたいと思います。</p>
佐藤教育長	<p>のぼり旗はどうなっていますか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>既に発注済みではあるのですが、もう1週間ほどお待ちいただければと思います。大館能代空港ターミナルビルの方には昨日設置してございますけれども、生涯学習課の方の予算で設置させていただきます。</p>
佐藤正俊委員	<p>実は今日、道の駅たかのすに用事があつて寄つたのですが、見当たりませんでした。あそこにはたくさんの方が立ち寄るので、できればあいつつポイントポイントに、私たちの誇りとする伊勢堂岱遺跡世界文化遺産登録という、何か目につくものがあればいいなと感じましたのでよろしくお願ひします。</p>
蒔苗委員	<p>マタギの地恵体験学習会でカジカやイワナを捕るということですが、子どもたち捕れるものですか。</p>

小塚生涯学習課長	<p>イワナ釣りにつきましては、今は休止していますが阿仁打当の遊々ガーデンにイワナを放して釣り体験をしていただきます。カジカにつきましては、事前に用意できませんので、自然のものを、昨日の雨で川の状況は不透明ですけれども、カジカに関しては天然のものを突いていただきたいと考えてございます。どの程度突けるかは当日になってみないと分からないのが本音です。</p>
佐藤教育長	<p>あきたリフレッシュ学園でも今年カジカ採りに行ってきたようですけども、状況はどうでしたか。</p>
佐藤正俊委員	<p>やはり保護色というか、石とカジカが同じ色なのでなかなか見つけられないわけですが、何匹かは捕れます。私は20匹ぐらい捕りました。前田でやるのであれば、おそらく見ることはできると思います。ただ、大人が「これがカジカだよ」と見せるようにした方がいいのではないかなど。子どもはほとんど見つけることができません。これだよ、と見せると、わーっと驚くのですが、そういう工夫も必要かなと思います。</p>
佐藤教育長	<p>今回の参加者は4年生が多いようですが、見つけられればよいと思いますね。</p>
佐藤英樹委員	<p>ジュニアボランティアガイドをお願いしたい場合には、どこに連絡をすればいいのでしょうか。新聞やテレビを見ると、今、課長から説明あったように県内の方を対象にガイドするということが、県民対象とか、地域の方を対象に説明する機会も、ぜひほしいものだと思いますので、何回か日にちを決めてやってもらうことはできないでしょうか。インバウンドは来年あたりからできると思います。まず、県内や地域の方々に見てもらって、すばらしさを再確認してもらいたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>8月の7日から11日までやるといったところは、既に決めてはいたのですが、世界文化遺産登録と同時ですとかその前にこれを発表しても、マスコミの取扱いがどうだろうかと思ひまして、あえて、世界文化遺産登録の記事がちょっと収まるのを待っているという状況でして、間もなく今週末ですとか来週の頭には各社報道機関等に投げ込みをしまして、事前に縄文館への申し込みが必要ですか、新型コロナウイルス感染防止を考えて、今年度については県内のお客様だけに限定させていただくといった内容を周知しようと考えてございます。なぜ8月の7日から11日までで設定したかという、お盆に帰省するお客さんを世界文化遺産に連れて行って、地元の子どもがガイドしているんだよ、と宣伝してくれることは非常にありがたいのですが、子どもたちの感染防止を考えると、ぜひお盆は外させていただきたいという考えでこの設定とさせていただきました。感染が落ち着けば、もちろん興味がある、聞きたいというお客様には、対応したいと思っているのですが、今年度に限ってはこういったかたちでやらせていただきたいと考えています。</p>

佐藤教育長	<p>ジュニアボランティアガイド、県内で早く取り組んだのは、八幡平中が紅葉をガイドするというので鹿角市でやり始めたんですね。その後、十和田中も大湯ストサークルでやったんですが、そちらはあまり長続きしなかったんですね。うちの方は7年も続いていますので、しかも子どもたちも増えてきているということで非常にうれしいことなのですが、やはり新型コロナウイルスが非常に心配で、親御さんが果たして出してくれるのか心配なところがありました。一般の人たちとの接触がありますので、7日から11日まで本当に子どもたちを出してくれるか、そちらの方の確証を取る必要があるため、ジュニアボランティアガイドの年次総会終わって、通知を親御さんに出して、うちの子はいいよと了解を確認した上での広報ということになると思っています。実は令和2年度は、研修会はやったけれども、結局実践する場がなかったんですね。そうしたら今年の募集で、去年初めて応募した子どもたちはほとんど応募していなかった。去年は勉強だけして実践する場面をつくれなかったというので、今回のジュニアボランティアガイドのねらいは、多くのお客さんに見て楽しんでもらうのではなくて、子どもたちの発表する場をあえて作ろうというので、県内限定で期間も限定でやりましょうということにしています。県外の方にもやってくれれば良いと思う方もいると思いますが、まずこの情勢ですので、その辺のところはこういうことだということで、皆さんも聞かれた時にはお答えしてもらえればと思います。</p>
佐藤正俊委員	<p>ジュニアボランティアガイドの環境についてです。子どもたちは楽しくやっているようですが、どういう環境になっているかしっかり把握していただきたい。例えば、ずっと立っていなければいけないので休む場所が必要とか、そういう環境づくりが大事だと私は考えます。観光客の方にだけに目がいくのではなく、子どもたちの居場所がどこにあるか、しっかり見守っていきその環境を生涯学習課の方で見てあげてほしいと思います。</p>
小塚生涯学習課長	<p>もちろん来ていただいたお客様も、ボランティアしていただく小学生中学生高校生の皆さんも安全が大事でございます。縄文館の会議室が、ボランティアの控え室となっています。大体1時間ぐらいかけてグループを案内するという状況になりますけども、安全対策といったことでももちろん我々もいますが、地元の小ケ田地区の皆さんにもご協力いただいて、グループに必ず見守りとしてついていただく。そういった体制を今までもやってございますし、今後もこれを継続していくといったことで考えてございます。委員がおっしゃるとおり、お客様も大切ですが地域の大切なお子様でございます。安全第一で、上の方にも簡易的なテントも設置しますので、ちょっと日陰がほしいという時はそういう所でも休めるという状況を設定します。</p>
佐藤教育長	<p>以前は上にプレハブを置いていてそこで休めるようにしていたのですが、今回の世界文化遺産登録の関係でいろいろなご指摘がありまして、プレハブは下に下ろしたんですよ。それもまたちょっと景観的にどうかと言われておりますけども、上の方はテントを張って、少し間隔をあけて椅子を置いて日陰で休めるようにはしています。今</p>

佐藤教育長	<p>回のガイドは、縄文館の中はやめて外だけでガイドすると、先ほど課長が言ったように計画しています。</p> <p>他にございませんか。 ないようでしたら、次にスポーツ振興課からお願いします。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p><7月行事報告及び8月行事予定について報告> 資料のとおり。</p>
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について、質問や意見はございませんか。</p> <p>採火式は、火おこしで火をおこすのですよね。縄文館でやるといったところが本市の特徴となりますね。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>どこの市町村でもコロナ対策で大きくはやらないようです。関係者含めても50人が手一杯で20、30人程度で留めてほしいという意向もありまして、あまり大きく宣伝はしていません。資料見ていただくとわかるように、当市と鹿角市は縄文時代の火おこしによる採火、他は郷土の祭りから火を採るとか、太陽光とか独自の方法を考えているようです。</p>
佐藤教育長	<p>オリンピックの物品展示ですが、オリンピックの聖火リレーに参加した本市の人は何人いたのですか。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>1人です。募集した当時は北秋田市にいたのですが、現在は転出しています。三浦美由紀さんという方です。</p>
佐藤教育長	<p>ある方から、自分のも使ってほしいという話を聞いていますので、後で情報提供します。うまく活用していただきたい。</p>
佐藤英樹委員	<p>先日、コロナワクチンを接種しました。市の職員の対応も素晴らしいですが、ボランティアの方々も非常に頑張っていたいて、これまで徹底されたスムーズなイベントはなかったと大変感心していたところです。会場を貸している体育館では大変だと思いますが、この接種終わるまでよろしくお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、次第4番「案件」に移ります。(1)議案第43号 北秋田市体育施設管理規則の一部を改正する規則の制定について (2)議案第44号 北秋田市体育館管理規則の一部を改正する規則の制定について この2件については、関連がありますので一括して説明をしてください。スポーツ振興課長。</p>

藤野スポーツ振興 課長 佐藤教育長	<p><議案第 43 号、44 号説明></p> <p>ただ今の説明について質問はございませんか。 質問については、議案番号を特定してお願いします。</p>
委員	ありません。
佐藤教育長	<p>なければ採決を行います。採決は議案毎に行います。</p> <p>はじめに、(1) 議案第 43 号 北秋田市体育施設管理規則の一部を改正する規則の 制定について 原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
佐藤教育長	<p>皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。</p> <p>次に、(2) 議案第 44 号 北秋田市体育館管理規則の一部を改正する規則の制定 について 原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
佐藤教育長	<p>皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。</p> <p>次に、(3) 議案第 45 号 北秋田市公民館館長の任命について 説明をお願いします。 生涯学習課長。</p>
小塚生涯学習課長	<議案第 45 号説明>
佐藤教育長	ただ今の説明について質問はございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	<p>皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。</p> <p>次に(4) 議案第 46 号 北秋田市教育委員会点検評価委員の委嘱について 説明 をお願いします。総務課長。</p>

金田総務課長	<議案第46号説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見はございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければ、原案のとおり決定してもよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意を得られましたので、原案のとおり議決とします。
	次に、(5) 議案第47号 令和2年度北秋田市教育委員会点検・評価報告書について説明をお願いします。総務課長から。
各課長	<議案第47号説明>
佐藤教育長	ただいまの説明について、質問や意見はございませんか。
	課によって指標にするものを記載する場所が異なりますが、統一できませんか。ぱっと見て分かるように、工夫した表記になるように検討してください。見えづらく、統一感がないので。
金田総務課長	はい。
藤本委員	17、18ページ、何が何%なのかが分かりません。マイナス何%とかプラス何%とか書いているのですが、これは何を表しているのか。平均を上回るとかプラスマイナス何%と書いているが、この表は何の%なのでしょう。
山田学校教育課長	まず17ページについては、「小学校」「中学校」「平均」という横の三行については、左にあります授業研究会に関する教職員アンケートの中の各項目で「十分満足」「概ね満足」という割合の合計が、その部分になります。
藤本委員	割合が最後の合計の90%以上という、この表に結果を書いたということですか。
山田学校教育課長	「十分満足」「概ね満足」と答えた先生たちの割合が90%以上になるようにという評価指標になります。90%以上の先生たちが「十分満足」「概ね満足」と答えることを目標にしていることに対して、結果が97%、99%だったというものです。

藤本委員	その結果と、これが何を表しているかが一緒に書いてあるから。この表は、先生方が「十分満足」「概ね満足」と答えた結果の表ですか。
山田学校教育課長	その下の「小4」「小5」「小6」については、質問が県の学習状況調査の質問項目なので、ちょっと別ですね。
藤本委員	県平均を上回るところに書いてあるが、何の数字が書いてあるのかと、数字の結果が同じ文の中にあるから、ちょっと分かりにくいのではないですか。
山田学校教育課長	二つの質問で更に同じ表の中に入れてあるからですね。わかりました。
藤本委員	18ページは、「勉強が好きだ」の割合がこうで、県平均にプラス3%になっている、というのが結果ですよ。
山田学校教育課長	そうです。検討させていただきます。
藤本委員	スポーツ振興課の51ページ、表中「中学生以上」とありますが「中学生以下」ではないですか。
藤野スポーツ振興課長	すみません。中学生以下が正しいです。
佐藤教育長	他に皆さんからございませんか。 今回大幅に評価の仕方の中身や考え方から変えてやってみたところですので、この後、点検評価委員の方々にも見てもらうわけですが、指摘のあった箇所に修正を加えた上で、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
委員	はい。
佐藤教育長	皆さんの同意を得られましたので、修正して決定することとして議決とします。 次に、次第5番「その他」に移ります。 (1) 次回の定例教育委員会について、事務局からお願いします。
事務局	次回の定例教育委員会は、8月26日木曜日午後1時30分から、市役所第二庁舎1階第三会議室を予定しております。
佐藤教育長	(2) その他ですが、何かありますか。
事務局	<令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会について説明>

佐藤教育長	その他、何かございませんか。
委員	ありません。
佐藤教育長	なければこれをもちまして、7月定例教育委員会を閉会いたします。

(午後3時20分閉会)